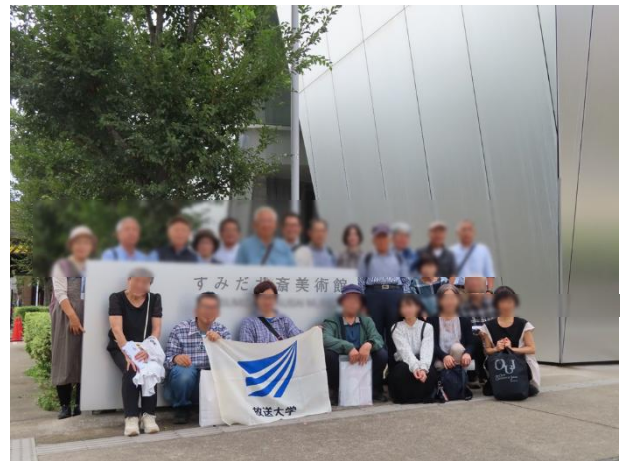


2025 年度学生研修旅行報告

～今話題の浮世絵師「葛飾北斎」(すみだ北斎美術館)と運慶作の7軀の国宝仏や多くの名品(東京国立博物館)を鑑賞し、関東大震災等からの復興の歩みを学ぶ～

10月5日に学生研修旅行を実施しました。当日は、3つの施設を見学。最初に訪れた『すみだ北斎美術館』では、葛飾北斎の各時代の錦絵をエピソードとともに鑑賞でき、また、現代の技術を活かしたタッチパネルモニターや、高精細画面モニターによる制作工程の紹介コーナーもあり、今、大河ドラマで話題の浮世絵の世界を堪能しました。



すみだ北斎美術館

次に訪れた『東京都復興記念館』では、慰霊堂において、ビデオを使用した施設のお話があり、展示館に移動後、写真パネル、遺品や被災物などの展示から関東大震災・東京大空襲の被害や当時の状況と、復興に向けた取り組みについて知ることができました。災害や戦争の歴史や記憶、教訓を未来へという思いなど、改めて平和について考える時間となりました。



東京都復興記念館

(左：慰霊堂、右：展示館)

昼食は、明治 22 年創業の老舗『割烹 三州家』にて、ちゃんこ鍋をいただきました。初めて召し上がる方も多く、会話も弾み和やかな雰囲気の仕事となりました。



午後の『東京国立博物館』では、特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」を鑑賞。通常非公開の北円堂の修理完成を記念した企画で、弥勒如来坐像の寺外公開は約 60 年ぶりということで、大変貴重な機会となりました。鎌倉復興当時の北円堂内陣を再現した空間と 7 軀の国宝仏の迫力に圧倒されました。また、他の国宝や重要文化財を含め、日本の石器時代から現代に至る名品と東洋の美術品等を鑑賞しました。



東京国立博物館

今年の研修旅行は、日程に余裕を持たせて計画したつもりでしたが、どの施設も見どころ満載で、やはりやや急ぎ足となりました。今回も、学びの多い充実した学生研修旅行でした。

終了後のアンケートでは、皆さん大変満足した様子で、来年度の研修旅行についての希望もたくさん寄せられました。来年度も実施が決まりましたら、センターウェブサイト、公式 X、一斉メールでお知らせします！